

# 『水痘・帯状疱疹ウイルスによる喉頭麻痺の全国調査』について

## ➤ 研究（調査）の目的と概略

水痘・帯状疱疹ウイルス（VZV）は初めて感染した時は水痘を発症しますが、その後ウイルスは体内に潜みます（潜伏感染）。潜伏感染の経過中に体調不良などがあればVZVは再活性化し、帯状疱疹を発症します。この際、典型的な帯状疱疹ではなく、顔面神経麻痺（ハント症候群）や、のどの麻痺（喉頭麻痺）を生じることがあります。この研究では、VZVの再活性化による喉頭麻痺の疫学や治療、予後などのカルテデータを全国多施設より提供いただき、実態を調査します。

## ➤ 研究（調査）の方法

この調査へ参加する医療機関から、個人情報 that 特定できないようにした症例調査票を提供していただきます。症例調査票には、VZVによる喉頭麻痺の患者さんの、年齢、性別、病気の状態、血液でのウイルス検査、治療方法、経過についての情報が記載されます。集計した症例調査票は、福島県立医科大学耳鼻咽喉科において解析します。

## ➤ 研究（調査）の参加施設

日本気管食道科学会の認定研修施設をはじめ、耳鼻咽喉科専門医を養成するための施設にも、この調査への参加の意向を確認します。

## ➤ 調査期間

学会による研究承認日～2028年3月31日

## ➤ 調査の対象となる患者さんへ

この研究は、2023年1月1日～2024年12月31日に診断された、VZVによる喉頭麻痺の患者さんを対象とします。カルテから得られるデータについてアンケートを行い解析します。アンケートは個人が特定できないように管理し、個人情報を保護します。

## ➤ この調査への協力は任意です。

この研究に情報が用いられることをご本人または代理の方にご了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに情報の利用はしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、ご本人または代理の方に不利益は生じません。

## ➤ お問い合わせ先

この研究は、日本気管食道科学会臨床研究委員会が研究事務局を担当しています。  
研究責任者：室野重之（施設名）福島県立医科大学耳鼻咽喉科

お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本気管食道科学会 事務局  
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-11 陽臨堂ビル2F  
E-mail : [jbes@kishoku.jp](mailto:jbes@kishoku.jp)